

令和6年7月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	6,010	9,390	4,705	4,685	0	5
2 千 石	4,231	6,933	3,473	3,460	8	16
3 内 山	5,874	8,081	4,346	3,735	27	27
4 大 和	3,678	6,697	3,329	3,368	△ 15	△ 22
5 上 野	7,571	15,386	7,524	7,862	8	△ 15
6 高 見	7,509	13,367	6,349	7,018	△ 9	△ 16
7 春 岡	7,236	11,141	5,899	5,242	5	7
8 田 代	11,345	21,867	10,488	11,379	△ 2	△ 5
9 東 山	10,348	18,913	9,230	9,683	△ 1	△ 7
10 見 付	4,563	8,382	4,227	4,155	13	33
11 星 ケ 丘	3,626	6,881	3,062	3,819	△ 8	△ 19
12 自 由 ケ 丘	3,559	7,116	3,235	3,881	△ 2	△ 7
13 富 士 見 台	6,536	15,073	6,842	8,231	△ 8	△ 22
14 宮 根	3,842	7,957	3,671	4,286	△ 4	△ 16
15 千 代 田 橋	3,764	8,122	3,807	4,315	△ 7	△ 24
千 種 区 計	89,692	165,306	80,187	85,119	5	△ 65
R5. 7. 1	88,625	165,204	80,106	85,098	△ 28	△ 4
対 前 年 比	1067	102	81	21	33	△ 61
名 古 屋 市	1,171,237	2,329,438	1,143,173	1,186,265	658	△ 115
愛 知 県 (R6. 6. 1)	3,359,921	7,468,844	3,718,945	3,749,899	4,265	742

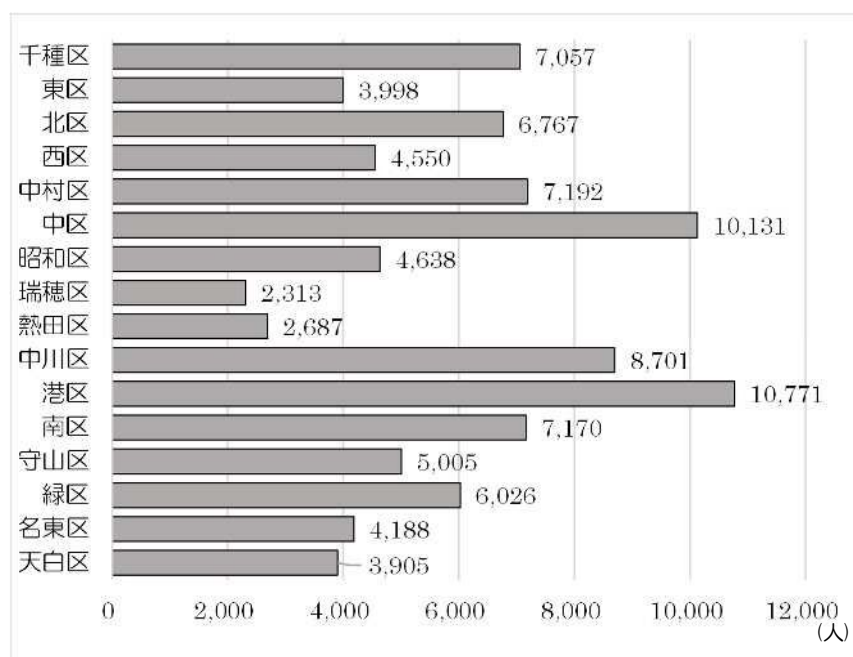
前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	66	117	△ 51	809	823	△ 14

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

千種区の外国人人口の概況



今回は、名古屋市及び千種区の外国人人口の概況を見ていきます。

まず、名古屋市内の区別外国人人口について見てみます（図1）。

名古屋市内の各区の令和6年5月1日現在の外国人人口の数を比較してみると、港区が10,771人と最も多く、続いて中区が10,131人となっています。千種区は7,057人で、16区の中で6番目の多さとなっています。

図1：区別外国人人口（令和6年5月1日現在）

次に、千種区の国籍別外国人人口について見てみます（図2）。令和6年5月1日現在の千種区の国籍別外国人人口を見てみると、中国籍の人口が2,194人と最も多くなっています。

次に、令和6年5月1日現在の千種区における、平成27年からの10年間の外国人人口の推移について見てみます（図3）。

千種区では平成27年からの10年間で外国人人口が2,128人増加しており、平成27年から令和元年までは外国人人口が増加傾向にあります。令和2年から2年間は新型コロナウイルス感染症の影響か、外国人人口が減少傾向となっていますが、令和5年から再び増加傾向となっています。

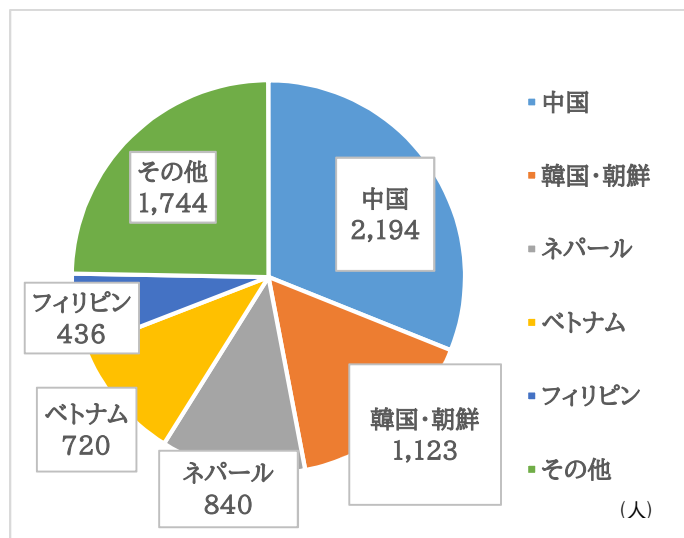


図2：千種区の国籍別外国人人口
（令和6年5月1日現在）

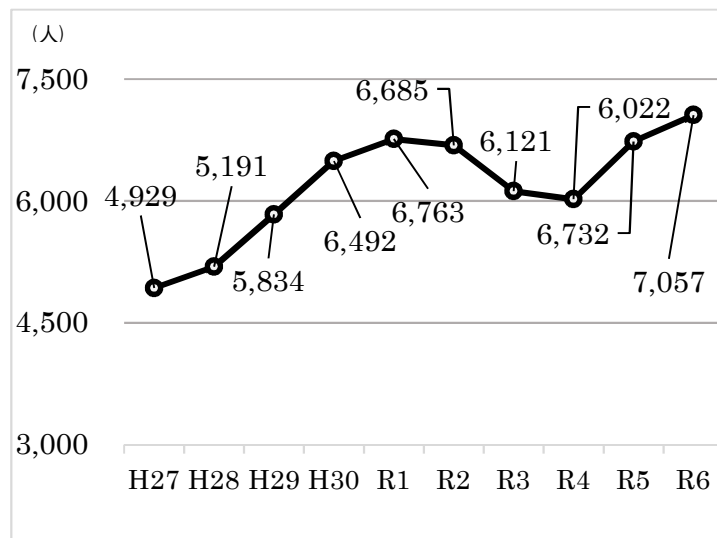


図3：千種区の毎年5月外国人人口の推移
（令和6年5月1日現在）